

明治学院コンサート・シリーズ 第32回 《日本近代音楽館によせて》

2011年 9月25日(日) 15:00 開演 (14:30 開場)

明治学院大学 白金キャンパス アートホール

入場無料 (一般の方々・学生、どなたにも開かれています。)

ラフマニノフ／ロマンスとスケルツォ

佐藤敏直／2人のヴァイオリニストのための「天空によせる歌謡」

山田耕柝／弦楽四重奏曲 第2番

高田三郎／弦楽四重奏のための「マリオネット」

モーツァルト／弦楽四重奏曲第17番「狩」

明治以来の日本洋楽史の重要史料を所蔵・公開する日本近代音楽館が、今春、本学内に移転・オープンし、メディアでも報道されました。これにちなみ、第一弾として、山田耕柝のみずみずしい感性が光る弦楽四重奏曲、「水のいのち」などで愛される高田三郎ほかを取り上げ、人気の名曲とともにお贈りします。最高の音響のアートホール (140席) で。

印田 千裕 いんだ・ちひろ (violin)

スズキ・メソッドでヴァイオリンを始め、東京藝術大学附属音楽高校、同大学卒業。英国王立音楽院に留学し、最高位賞の Diploma of the Royal Academy of Music (Dip RAM) を得る。吉川朝子、澤和樹、W. マルシュナー、G. パウクの各氏に師事。H. クレバース、トーマス・ブランディス、ザハール・ブロン、フェデリコ・アゴ스티ーニ、オレグ・クリサ各氏のマスタークラス受講。マルシュナー国際コンクール第3位。江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第1位。日本フィルハーモニー交響楽団とブラームスの協奏曲を共演。2009 CHANEL Pygmalion Days 参加アーティスト。邦人作品にも積極的に取り組み、CD「日本女性作曲家の歩み」「山田耕柝ヴァイオリン&ピアノ作品」(ミッテンヴァルト)ほかをリリース。国内外で演奏活動を展開している。

竹内 弦 たけうち・げん (violin)

東京藝術大学音楽学部、同大学院修士課程卒業。旧奏楽堂・木曜コンサート、芸大ラヴェル・プロジェクト、芸大室内楽定期演奏会などに出演。原村室内楽セミナー、クフモ音楽祭(フィンランド)、シモン・ゴールドベルグ記念セミナー等に参加。ヴァイオリンを藤野妙子、服部芳子、原谷百代、岡山潔、松原勝也の各氏に師事。現代音楽団体、Ensemble Bois メンバーその他、オーケストラ、ソロ、室内楽奏者として活躍中。

渡邊 智生 わたなべ・ともみ (viola)

4歳よりヴァイオリンを始め、17歳でヴィオラに転向。04年東京藝術大学卒業。京都フランスアカデミー、モーリス・ラヴェル国際音楽アカデミーにてB. パスキエ氏の公開レッスン受講生として選ばれる。ヴィオラを菅沼準二、クロード・ルローン、室内楽を松原勝也、市坪俊彦の各氏に師事。現在、オーケストラや室内楽を中心に活動。クラシックのほかにも、フォークデュオのコブクロほか、様々なアーティストのライブやツアー、レコーディングに参加している。

半澤朝彦 はんざわ・あさひこ (cello)

霧島国際音楽祭、京都フランス音楽アカデミー、英国湖水地方国際セミナーなどに選抜され、堤剛(桐朋学園大学)、F. ミュール(パリ国立音楽院)、H. シャピロ(ジュリアード音楽院)、G. ホーシュ(コンセルトヘボウ管首席)氏らのマスタークラスでたびたび演奏。パリ・エコールノルマル音楽院のG. トウリエル氏に6年間師事。クライスト・チャーチ祝祭交響楽団等の首席チェロ奏者を務め、多くの独奏会、室内楽演奏会で好評を博す。2010年、英国 Trinity-Guildhall 音楽院ディプロマで同音楽院生相当の成績を収める。本学国際学部准教授(国際関係史)。本シリーズをプロデュース。チェロを毛利伯郎氏に師事。

[明治学院国際学部コンサート・シリーズ 第32回] ☆明治学院白金アートホールへの行き方: JR品川駅高輪口より都営バス「目黒駅」行、またはJR目黒駅より「大井競馬場」行きに乗り、「明治学院前」下車。または、地下鉄南北線の白金高輪、白金台、浅草線の高輪台からいずれも徒歩5分。ホールはキャンパス内、東門に近いガラス張り建築の「パレットゾーン」2階奥。